

「はこだて入退院支援連携ガイド」 令和6年度 アンケート集計結果

資料1

【年度別回収率】

種別	令和6年度			令和5年度		
	配布数	回答数	回収率	配布数	回答数	回収率
病院	25	16	64.0%	25	10	40.0%
居宅	90	32	35.6%	95	29	30.5%
包括	10	5	50.0%	10	6	60.0%
訪問系	54	6	11.1%	48	6	12.5%
施設系	186	25	13.4%	190	26	13.7%
合計	365	84	23.0%	368	77	20.9%

*参考：令和6年度Googleフォームのみの集計

種別	配布数	回答数	回収率
病院	25	5	20.0%
居宅	90	7	7.8%
包括	10	2	20.0%
訪問系	54	1	1.9%
施設系	186	8	4.3%
合計	365	23	6.3%

病院＝クリニックを除く

訪問系＝訪問看護，訪問リハビリ

施設系＝特養，老健，グループホーム，サ高住，有料老人ホーム，ケアハウス，養護老人ホーム

1. 「はこだて入退院支援連携ガイド」(以下「連携ガイド」と表記)をご覧になった事がありますか。

- ・はい 77 (91.7%)
- ・いいえ 7 (8.3%)

【年度別回答】

回答	令和6年度	令和5年度
はい	91.7%	84.4%
いいえ	8.3%	15.6%

【所属機関別】

	病院	居宅	包括	訪問	施設	合計
はい	15	29	5	6	22	77
いいえ	1	3	0	0	3	7

2. (1. で「はい」と答えた方)「連携ガイド」をどのような機会にお使いですか。(複数回答可)

・患者・利用者との面談時	14	(14.3%)
・新人教育や研修等	13	(13.3%)
・業務の確認等	40	(40.8%)
・活用する機会がなかった	27	(27.6%)
・その他	4	(4.1%)
・未記入	0	(0.0%)

【年度別回答】

回答	令和6年度	令和5年度
面談	14.3%	10.4%
研修	13.3%	19.8%
業務	40.8%	34.4%
機会ない	27.6%	32.3%
その他	4.1%	3.1%
未記入	0.0%	0.0%

【所属機関別】

	面談	研修	業務	機会ない	その他	未記入
病院	0	3	6	7	0	0
居宅	8	4	19	7	1	0
包括	2	3	3	2	0	0
訪問	1	0	3	3	0	0
施設	3	3	9	8	3	0
合計	14	13	40	27	4	0

「その他」でのご意見

(施設)入退院の準備, 実習生への指導

3. 「連携ガイド」を使用してのご意見をお聞かせ下さい。

（病院）

- ・看護学生の実習時活用しました。病棟看護師の目にふれる機会があるとよいと思う。多機関が集まる大きめのカンファレンス前には必ず目を通し流れなど確認してイメージトレーニングします。
- ・連携業務を始めて担当する方や新人向けに活用しやすいです。
- ・病棟など院内他部署に連携業務を理解してもらうのに使用できると思います。
- ・患者家族が必要とする情報がまとめられている。ガイドをみせながら支援の進め方を説明しました。
- ・他機関の紹介にかかわる地域医療連携室内で職員周知のために使用させていただきました。内容としてはこのままでよいと思います。
- ・入退院支援に必要な手順を確認することができるので助かる。新人の方に対しての教育に活用できるのありがたい。

（居宅）

- ・退院支援を行っている中で疑問が生じた時など確認のために使用。
- ・退院前カンファレンスの参考にしている。
- ・大変助かっています。
- ・わかりやすく表、重要ポイントなどが記載されていますので、とても助かります。業務が多く忙しく時間調整をしていただけること、必要事項の確認なども適確なのでよいと思います、自分のペースで行いがちですが目を通して不足部分もわかりました。
- ・今後、業務等で活用していきたい。
- ・入退院時の流れが確認できるため業務確認や指導時に助かります。
- ・細かく情報が書いているので、訪問時や相談時の事前確認に使用しています。
- ・使いなれてきたので、今は特にありません。
- ・連絡先などを探す時に使用しています。

（施設）

- ・急な救急搬送時、その他業務の兼ね合いもあり連携ガイドそのものに目を通す事を失念するなどが多いため、今後はより活用していきたいと思います。
- ・入院前の事前準備のために活用（患者サマリーの確認）退院前の事前準備として（介護、障害、包括）などのサービス調整に活用。
- ・新人教育で使用したいと思いましたが、新人がおらず改めて使用する機会がありませんでした。
- ・医療福祉に従事していない人が読んでもわかりやすいように書かれていると思う。
- ・カンファレンス前や来院する時にあると便利です。
- ・入所者様が入院された際、ご家族へ入院中の対応や今後について連携ガイドを基に説明を行いました。
- ・今一度、自分の入退院支援の在り方を振り返るために使用しました。不十分な点など確認できました。
- ・現在対象者はおりませんが、新任相談員がはいった際には活用できるのではないかと考えておりました。
- ・入居者さんが救急搬送など、入院されたときやリハビリ転院の話が出たときに参考にさせて頂きました。

4. 『連携ガイド』をご覧になって、今後使いやすくする為のご意見をお願いいたします。

周知についてのご意見

- ・経験が少ないため入退院時には連携ガイドを確認しながら業務を進めております。研修会や講習会などがあればもっと知識が深められスムーズな連携が取れやすくなるのではないかと感じました。（居宅）
- ・内容は充実していると思いますので、現在行われている定期的なアンケートに加えて存在を意識できるよう研修機会などで啓蒙していくべきだと思います。（施設）
- ・地域連携マップ紹介動画のような、紹介動画があると、私としては研修として職員に紹介しやすいです。どのような内容が書かれているか動画で見る事で、職員も何かあった時にこのガイドブックを思い出しやすく、参考にするのではと思いました。（施設）

ガイド自体の形について

- ・もう少し図が多いほうがわかりやすいと思いました。（居宅）
- ・項目別にあり説明しやすくなった。もう少しわかりやすい表現や図などがあればいいと感じます。（施設）
- ・入退院を繰り返すため情報共有を手厚くしたいと思うことが多いです。入退院支援直通の電話、FAXなどの情報があると助かります。代表番号など話し中だったりするので時間がかかることが多いです。（居宅）
- ・療養支援のしおりも併用していますが、医療介護連携サマリー送付時に直通のFAX番号の記載があると助かります。HP上では相談受付時間を確認できますが、一覧で確認できると助かります。（居宅）
- ・このままで問題ないと思います。（病院：1件）（居宅：1件）（施設：1件）

その他

（病院）

- ・院内多職種に対し退院前カンファ目的や共有する情報内容など理解してもらうのによいと思いました。
- ・連携ガイドの存在を知らなかった。今回ガイドを見て東部地区でもっと活用できたらよいのではないかと思います。東部地区では3か月に1回会議を行っているが実際有意義な意見交換となっていないような印象を持っているので当院は東部地区にある唯一の入院施設であるため日頃から地域包括の中心を担えるような体制作りが大事であると思った。

- ・今回知るきっかけとなりましたので業務で利用させていただきます。

（居宅）

- ・事業所内でも理解できるように使用させていただき、円滑な業務調整をこころがけます。

（施設）

- ・より連携が必要な時代になっていて、こちらも研修や知識を獲得することに励んでいます。病院側で情報をくれなかったり連携しようとしないうところがまだあります。
- ・32ページの大ボリュームで、勉強になることが多々ありました。
- ・当たり前の事がなかなかできない世の中になっているんだと感じました。